

施設等ノ微温的立法ニ對シテモ、事毎ニ反對シ、社會立法、勞働立法ノ開拓ノ分野ヲ抹殺セントシテキル。更ニ、彼等ハ、一切ノ自主的勞働者ノ組織ニ對シテハ、先ヅ、御用組合ト反動組合ヲ代置シテ妨害ヲ試ミ、進ンデ、既存ノ組織ニ分裂攪亂ノ魔手ヲ伸バサントスル。日常ノ勞働條件ニ就イテ見ルニ、安貨銀ト二重賃銀制ト臨時雇傭制下ニ酷使シ、欺瞞的共済施設ヲ以テ一切ノ自主的共済運動ヲ壓殺シテキル。マタ、勞働組合ノ行動ニ對シテハ、日常ノ組織運動タルト爭議タルトニ關ハラズ、合法性ヲ認メズ、暴壓ニ狂奔シ、進ンデハ、暴壓諸法令ノ増補改悪ヲ企テ、キル。

四 非常時闘争ノ一般方針

カ、ル非常時ノ究明ト共ニ、我國勞働組合ノ陣容ト從來ノ方針ヲ顧ミルトキ、我等ハ幾多ノ批判スベキモノヲ見出ス。ソノ根本的ナモノハ、主體的條件ノ未完成ニヨルガ、一面、方針ノ誤謬ニ求メラレシ。

脚テ、

- 一、主體的條件ニ於テハ、勞働組合職線ノ統一ノ未完成ト充實ノ不充分ヲ擧ゲラレル。我等ハ、日本勞働組合會議ノ擴大強化ト全國勞働ノ發展充實ニ、一切ノ對策ノ基調ヲ置カネバナラナイ。
 - 二、對策及ビ方針ニ於テハ、從來ノ公式主義的考へ方ノ未清算ト階級的大衆的勞働組合運動ノ分野開拓ノ不充實ヲ擧ゲラレル。非常時下ニ於テハ、特ニ情勢ノ變動カラ來ル支配階級ノ急變ニ對シテ屈伸性アリ現實對策ヲ以テ備ヘナケレバナラナイ。
 - 三、戰術及ビ實踐ニ於テハ、從來ノ稍モスレバ實行性ニ對シテ過小評價シタル如キ傾キヲ清算シ効果ノ直接的、現實性ヲ重要視セネバナラナイ。
- 我ガ全國勞働ハ、今日マデ、階級的大衆的勞働組合ノ立場ニ立テ、大衆ノ日常利害ニ忠實ニ敏活ニ戰ヒ、大衆ノ全生活部面ニ密着スルタメニ新分野ノ開拓ニ努メ、同時ニ、コレヲ階級の見遣シノ